



2013.11.21.
1学年

社会医学講座 公衆衛生学部門 の研究

教授 三浦克之



国立大学法人

滋賀医科大学

SHIGA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE

疫学
臨床疫学

循環器疾患
生活習慣病

予防医学
生活習慣
健康教育

滋賀医科大学 アジア疫学研究センター

- 平成24年度文部科学省施設整備予算(最先端研究施設)による総合研究棟
- わが国初の「疫学研究拠点」として新築、本年10月開所
(センター長:三浦克之)
- 大規模な疫学調査とデータ管理機能
- 大規模な血液等、生体試料を保管する
バイオバンク機能
- 地域ベースの疫学研究を行うための
リサーチクリニック機能
- 共同研究者、学生のための解析スペース



地上3階建て
総面積1200m²



NIPPON DATA 80/90/2010

- ✓ 循環器疾患基礎調査、国民栄養調査
(1980年、1990年)および国民健康・栄養
調査(2010年)対象者の長期コホート研究
- ✓ 日本国民を代表する集団
← 無作為抽出された全国300地区の集団
- ✓ 厚労省研究班として実施
(2010年より指定研究)



NIPPON DATAの追跡調査経過

1980年循環器疾患基礎調査

(10,546人)

追跡調査(14年後)

生死、ADL、QOL

追跡調査(19年後)

生死、ADL、QOL

追跡調査(24年後)

生死、ADL、QOL
国民栄養調査結果結合

追跡調査(29年後)

生死

NIPPON DATA80

1980年

1990年

1994年

1995年

1999年

2000年

2004年

2005年

2009年

2010年

1990年循環器疾患基礎調査

(8,334人)

追跡調査(5年後)

生死、ADL、QOL

追跡調査(10年後)

生死、ADL、QOL

追跡調査(15年後)

生死、ADL、QOL
国民栄養調査結果結合

追跡調査(20年後)

NIPPON DATA90



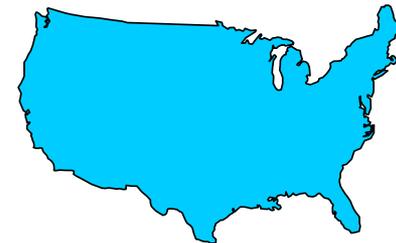
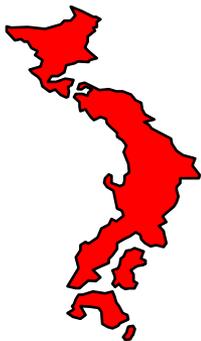
NIPPON DATA 2010

2010年「循環器病の予防に関する調査」

平成22-24年度厚生労働科学研究費・指定研究

研究代表者：滋賀医科大学 三浦克之

- 循環器疾患基礎調査の後継調査
- 国民健康・栄養調査と同時に研究班が追加調査を実施（全国300地区）
- 同意を得て長期発症追跡の開始（コホート研究）
- 全国約3000人の対象者が参加



ERA JUMP

戦後生まれ40歳代男性の潜在性動脈硬化の国際比較研究



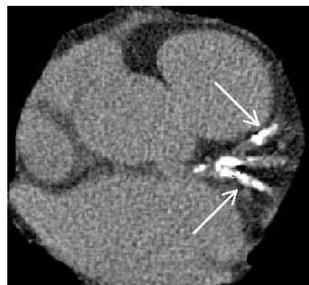
ピッツバーグ白人男性300人



草津市日本人男性300人



ハワイ日系人男性300人



冠動脈
石灰化
計測

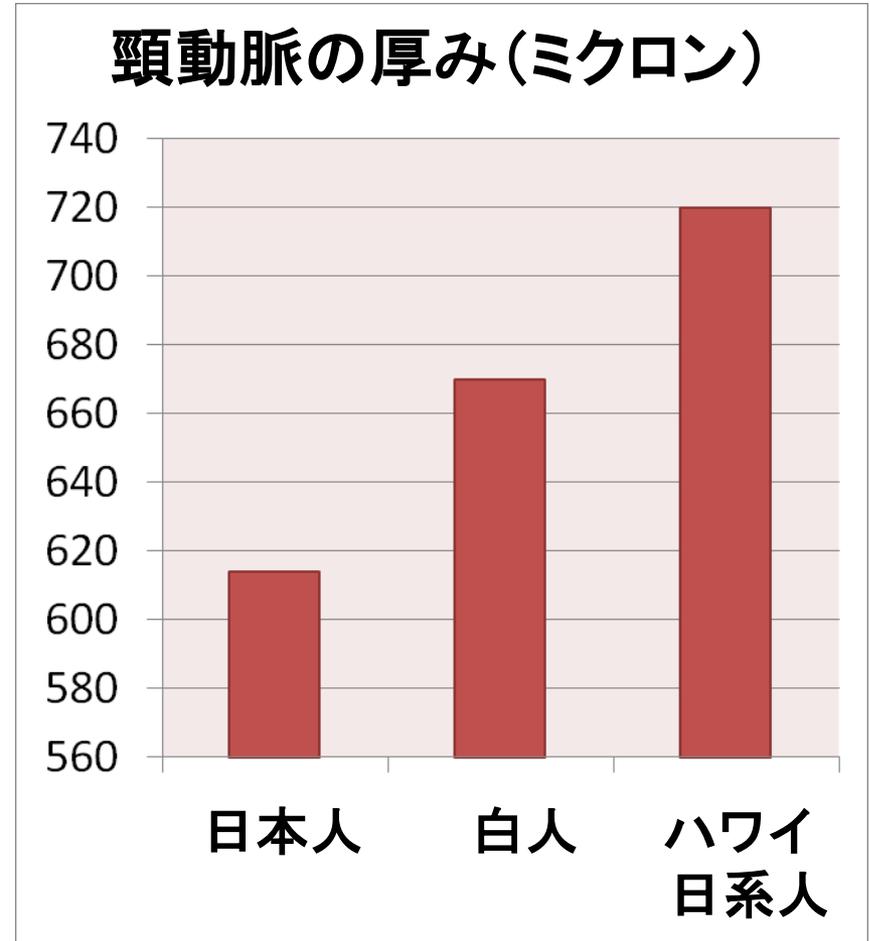
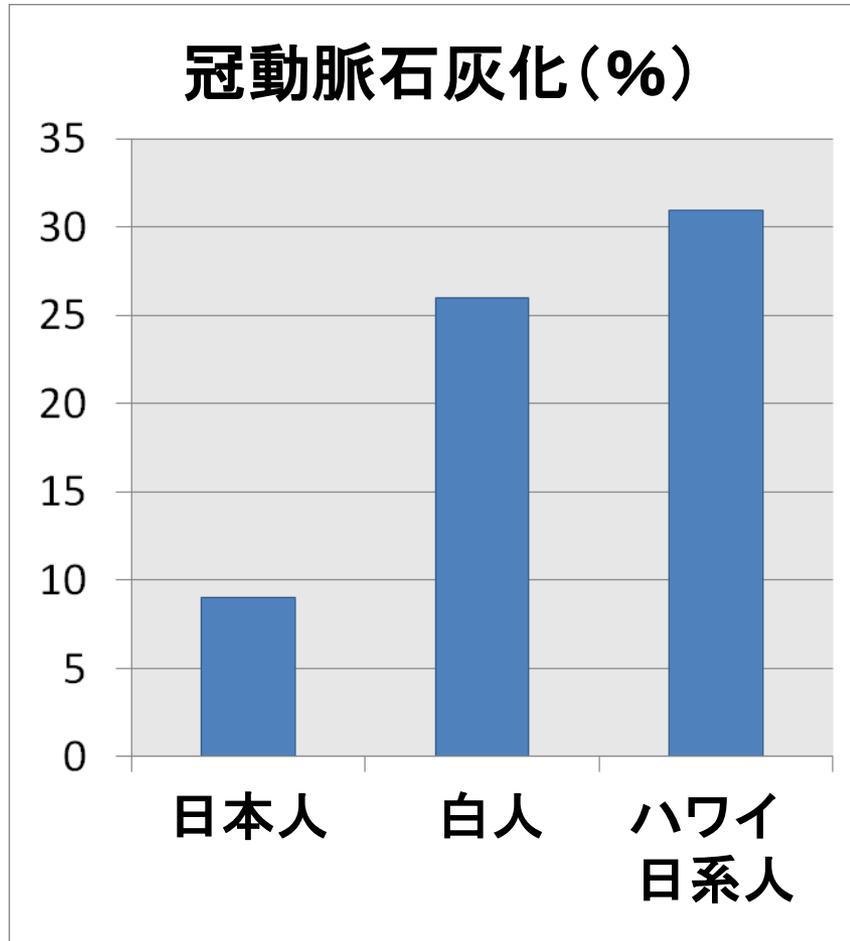
EBCT



頸動脈
動脈硬化
計測

超音波

ERA-JUMP研究の結果



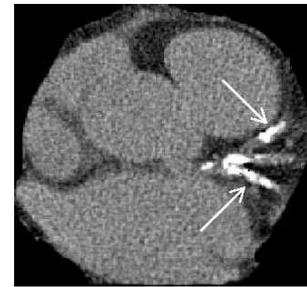
日本人が太ると、アメリカ人よりもっと危ない！

滋賀動脈硬化疫学研究 (SESSA)

- *Shiga Epidemiological Study of Subclinical Atherosclerosis*
- 草津市住民ランダムサンプル1600人の追跡研究(2002年～)
- CTによる冠動脈石灰化、超音波による頸動脈IMT/プラーク
- 脳MRI、認知機能試験

- 学内共同研究

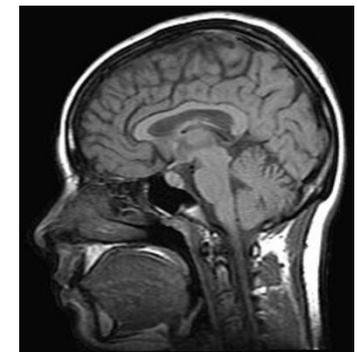
- 生活習慣病予防センター
- 社会医学講座公衆衛生学・医療統計学
- 放射線医学講座
- 糖尿病・腎臓・神経内科
- 呼吸循環器内科
- 家庭医療学講座
- 脳神経外科学講座
- 神経難病研究推進機構・分子神経科学研究センター
- MR医学総合研究センター



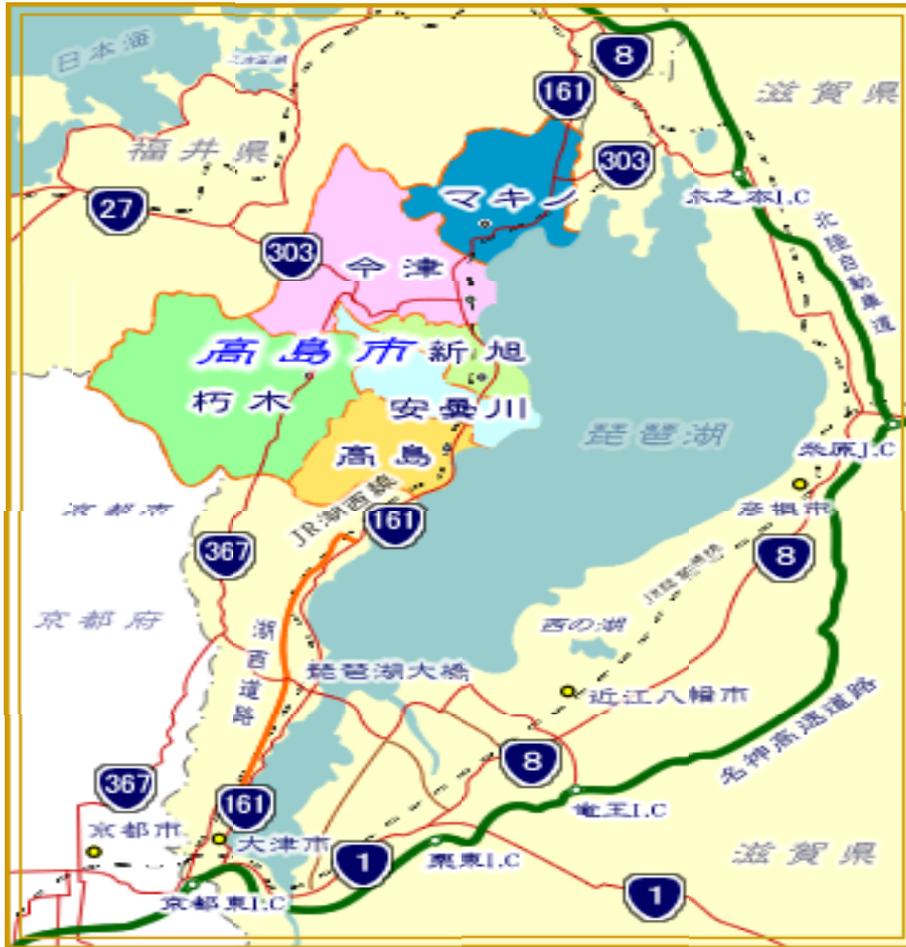
MDCT



IMT



高島研究



滋賀県高島市全域の
循環器疾患発症登録
(1988年～)

滋賀県高島市住民
約6000人のコホート研究
(2002年～)

栄養と血圧の国際共同研究 INTERMAP



INTERMAP Centers in the United Kingdom



Belfast

Birmingham

INTERMAP Centers in the United States



Minneapolis, MN

Chicago, IL

Baltimore, MD

Pittsburgh, PA

Jackson, MS

Honolulu, HI

Corpus Christi, TX (2 Samples)

INTERMAP Centers In Asia



Beijing

Shanxi

Guangxi

Sapporo

Toyama

Aito Town

Wakayama

4ヶ国17集団の40-59歳男女の
ランダムサンプル計4,680人



INTERMAPのこれまでの主な研究成果

栄養素摂取量2SD高値	収縮期/拡張期血圧の差
植物性蛋白質 (2.8%kcal)	-1.11 mmHg/ -0.71 mmHg
n-3脂肪酸 (0.67%kcal)	-1.01 mmHg/ -0.98 mmHg
リノール酸 (3.77%kcal)	-1.42 mmHg/ -0.91 mmHg
リン (232mg/1000kcal)	-1.47 mmHg/ -0.86 mmHg
非ヘム鉄 (4.1mg/1000kcal)	-1.45 mmHg
グルタミン酸(総蛋白の4.7%)	-1.5 to -3.0 mmHg
コレステロール (131mg/1000kcal)	+1.1 mmHg
果糖 (5.6%kcal)	+2.5 mmHg/ +1.7 mmHg

Elliott P, et al. *Arch Intern Med* 2006

Miura K, et al. *Hypertension* 2008

Tzoulaki I, et al. *BMJ* 2008

Sakurai M, et al. *J Hypertens* 2011

Ueshima H, et al. *Hypertension* 2007

Elliott P, et al. *Hypertension* 2008

Stamler J, et al. *Circulation* 2009

Brown IJ, et al. *Hypertension* 2011



滋賀医大の疫学研究プロジェクト

SESSA

滋賀動脈硬化疫学研究
草津住民1500人追跡

NIPPON DATA80/90

国民栄養調査2万人長期追跡
厚生労働省研究班 班長

NIPPON DATA2010

国民健康・栄養調査3000人
厚生労働省研究班 班長

国内共同疫学研究

国内の大学・研究機関

滋賀医科大学の臨床・基礎の各部門

アジア疫学研究センター

公衆衛生学部門 医療統計学部門

アジアと欧米の大学・研究機関

国際共同疫学研究

高島研究

高島市発症登録と
6000人コホート

EPOCH-JAPAN

全国18万人コホート統合
厚生労働省研究班

JALS

日本動脈硬化縦断研究
全国12万人コホート

APCSC

アジア太平洋
コホート共同研究

ERA-JUMP

潜在性動脈硬化の
日米比較研究

INTERMAP

血圧と栄養に関する
日中米英共同研究

EANS

東アジア脳卒中共同
研究(日中韓台)

滋賀医大中期目標「生活習慣病医学」研究を推進